

証券コード●4559

健康づくりは幸せづくり
Making Health is making happiness

第52期

事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日



ゼリア新薬

ZERIA

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
第52期の事業概況に関しまして、
ここにご報告させていただきます。

代表取締役社長

伊部 幸顕

CONTENTS

株主の皆様へ	P.1
営業の概況（連結）	P.2
研究開発	P.5
ZERIA NEWS	P.6
財務諸表（連結）	P.7
財務諸表（単体）	P.9
連結財務ハイライト	P.11
会社情報	P.12
株式情報	P.13
株主メモ	P.14

Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念



営業の概況（連結）

当期の業績

当期の業績は、売上高555億45百万円（前期比1.2%減）となりました。利益につきましては、経常利益18億79百万円（前期比6.0%減）、当期純利益12億48百万円（前期比9.8%減）となりました。なお、当期配当金につきましては、1株当たり16円とさせていただきます。

事業部門別状況

●医療用医薬品部門

医療用医薬品部門におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図るとともに、営業力強化を目的とした営業本部の組織改革を実施し、積極的な医薬情報活動の推進により重

点品目のさらなる市場構築に努めてまいりました。

最重点領域である消化器官用薬におきまして、市場環境の変化と市場競争が激化するなか、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック顆粒15%」は製品特性の市場認知が進み売上は増加いたしました。しかし、H₂受容体拮抗剤「アシノンカプセル75・150」は僅かに減少し、胃炎・潰瘍治療剤「マーズレン・S顆粒・ES錠」は苦戦が続きました。

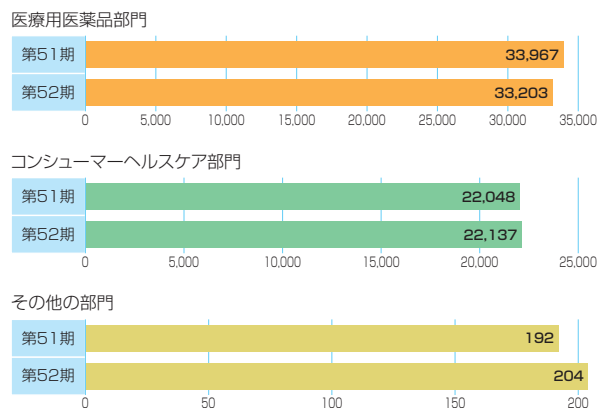
その結果、当部門の売上高は、332億3百万円（前期比2.2%減）となりました。

●コンシューマーヘルスケア部門

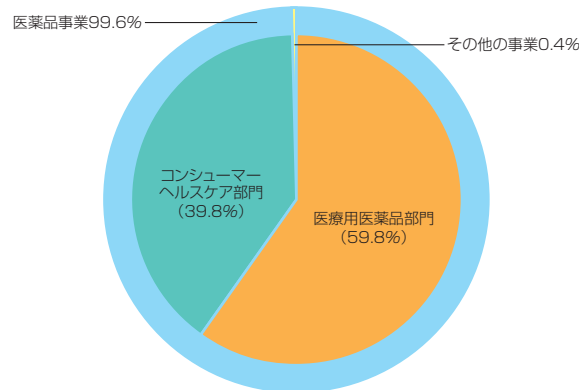
コンシューマーヘルスケア部門におきましては、さらなる高齢化社会が進展する中、セルフプリベンション（予防）を指向した製品の供給を通じて社会貢献すべく市場構築を強力に推進してまいりました。

なかでも「コンドロイチン群」は、新製品の投入

●連結売上高（単位:百万円）



●事業別売上高構成



営業の概況（連結）

を含めた積極的な営業展開により引き続き大幅に伸長し、トップブランドとしての地位をさらに強固なものとしたしました。また、医薬品ドリンク剤「ハイゼリー-B群」におきましても、ノンシュガー低カロリー品の市場投入などにより、順調な推移を示しております。

その結果、当部門の売上高は221億37百万円（前期比0.4%増）となりました。

研究開発の状況

研究開発部門におきましては、国際的に通用する新薬の創製を念頭に、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績がある



●主要医療用医薬品等

種別	製品名
消化器官用薬	アシノンカプセル(75、150)
	プロマック顆粒15%
	マーズレン-S顆粒・ES錠
中枢神経系用薬	ベオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠(10、20、40)
血液及び体液用薬	アンサー20注
医療機器	アピテン、シリンジアピテン

薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

注力領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、米国インカイン社（現サリックス社）より導入した大腸内視鏡前腸管洗浄剤「Z-205」は、昨年2月に承認申請いたしました。また、スイス・ティロツツ社より導入した炎症性腸疾患治療剤「Z-206」はフェーズⅢを実施しております。

日米欧3極で開発を進めている自社オリジナル品の「Z-338」は、機能性胃腸症を適応として国内及び欧州でフェーズⅡ、米国では実施許諾契約に基



●主要一般用医薬品等

種別	製品名
代謝性用薬	コンドロイチンZS錠
	新ヘパリーゼプラス・新ヘパリーゼドリンク
	ハイゼリー-B・ハイゼリー-Bフレッシュ
	新ローヤルゼレントB
	ゼリアス（V5、V10）
滋養強壯剤	ハイゼリー顆粒・ハイゼリー散
胃腸薬	ウイズワン・ウイズワンα・ウイズワンプラス
中枢神経系用薬	セビーゴールド（カプセル、顆粒）
医薬部外品	ローヤルゼリー散
	ビタヘルサン
外皮用剤	ドルマイシン軟膏
	ドルマイコーチ軟膏
栄養補助食品	新健康習慣シリーズ

づきアステラス製薬株式会社がフェーズⅡを実施しております。

「プロマック顆粒」につきましては、味覚障害効能追加のフェーズⅡを終了し、フェーズⅢを開始いたしました。「Z-360」は、欧州において膀胱癌に対するフェーズⅠb／Ⅱa（患者を用いた安全性・有効性の検討）を実施しております。また、「アンサー注」は子宮頸癌に対する追加フェーズⅢを引き続き進めております。

新たに独立行政法人科学技術振興機構の開発委託を受け、アレルギー性鼻炎治療剤「Z-207」の臨床開発に向けて準備を開始いたしました。中央研究所で創製された過敏性腸症候群治療剤「Z-501」は、米国でのフェーズⅠ実施を目指して準備を進めております。

なお、「プロマックD錠」（口腔内崩壊錠）につきましては、本年2月に承認され、上市準備を進めております。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、新製品、PB品を順次発売いたしました。

これら研究開発進展の結果、研究開発費は67億73百万円（前期比3.4%増）となりました。

生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。なかでも、生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてま

いりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、更なる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、コンシューマーヘルスケア事業拡充の一環として、来春稼働を目指して筑波工場の第2期工事を昨年12月にスタートいたしました。

次期の取り組み

医療用医薬品部門におきましては、環境変化に対応すべく投入した情報システムのより効果的な運用を推進いたします。さらに市場との密着度を高めるためITを活用したプロモーションシステムへの投資を図ることにより、営業力を最大限発揮できる仕組みを構築し生産性の向上を図るとともに消化器領域を中心とした市場育成強化に取り組んでまいります。コンシューマーヘルスケア部門におきましては、第5次中期経営計画期間中に業界トップの地位を固めた「コンドロイチン群」のさらなる拡大に注力するとともに、新たなナショナルブランド品を育成し、業界内での地位向上に取り組んでまいります。

研究開発におきましては、国際社会に貢献する新薬創出を目指して医療用医薬品の新薬パイプラインの一層の充実と強化に取り組んでまいります。また、超高齢化社会が進展する中でセルフメディケーションに対応するコンシューマーヘルスケア製品の開発に積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

研究開発

当社における新薬のパイプラインは国内外を合わせて14テーマであります。

研究開発の状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認	Z-103/ ポラプレジンク	自社	胃潰瘍	口腔内崩壊錠	導入 プロマック剤型追加
申請中	Z-205/ リン酸ナトリウム	自社	大腸内視鏡前 腸管洗浄剤	腸管洗浄剤	導入
	ZL-101/ ニザチジン	自社	胃・十二指腸潰瘍 逆流性食道炎・胃炎	錠剤	導入 アシノン剤型追加
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	自社	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調節製剤	導入
	Z-206/ メサラジン	自社	クローン病	pH依存型放出調節製剤	導入
	Z-103/ ポラプレジンク	自社	味覚障害	亜鉛補充	導入 プロマック効能追加
フェーズⅡ	Z-338/ Acotiamide	自社	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅠ 準備中	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニンNK ₂ 受容体拮抗作用	自社オリジナル

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社オリジナル アンサー効能追加
フェーズⅠ 準備中	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	導入

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅡ (欧州)	Z-338/ Acotiamide	自社	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅡ (北米)	Z-338/ Acotiamide	共同開発 (アステラス製薬)	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	導出 自社オリジナル
フェーズⅠb/Ⅱa (欧州)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社オリジナル
フェーズⅠ 準備中(米国)	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニンNK ₂ 受容体拮抗作用	自社オリジナル

第6次中期経営計画（平成18年4月～平成23年3月）を策定しました。

当社は、平成18年度を初年度とした5年間を対象期間とする第6次中期経営計画をスタートさせました。基本骨子は以下のとおりです。

第6次中期経営計画の位置付け

「より強固な車の両輪づくり」を目指しコンシューマーヘルスケア事業への更なる経営資源の投入を行いグループ全体の経営基盤強化を図り、事業拡大に繋げていく計画。

経営目標

平成22年度までに売上高1,000億円(連結)を達成し、対売上高純利益率については5%以上を目指す。

重点課題

- 1.医療用医薬品の生産性向上を図り、消化器領域を中心に確固たる地位を築く。
- 2.コンシューマーヘルスケアの新たなナショナルブランド品を育成する。
- 3.研究開発の新薬パイプラインの一層の充実と強化に努める。
- 4.生産物流と管理間接部門の効率性の向上を狙い、統合基幹システムを構築する。
- 5.企業提携など、医薬品事業のみならずその周辺事業も含めた分野での積極的な展開を図る。

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っております。2つのコースから、ご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

Aコース

からだの脂肪を考える、新概念食品
『新健康習慣』1箱 (2週間セット)



『新健康習慣』は、各種栄養成分をバランスよく配合した1食約220キロカロリーという低エネルギーの食生活サポート食品です。「体脂肪率が高い」「健康的なウエイトコントロールをしたい」といった方におすすめです。

Bコース

健康飲料『コンドロビー濃縮液 潤甦(じゅんこう)』
(720ml入り2本セット)

『コンドロビー濃縮液 潤甦(じゅんこう)』は1日の摂取目安量90ml中にコンドロイチン硫酸1,560mg、グルコサミン1,000mgおよびコラーゲンペプチド1,000mgも摂取できるように配合しており、若々しく活動的にすごしたいと願う方におすすめの健康飲料です。



財務諸表（連結）

連結貸借対照表

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成17年3月31日現在	平成18年3月31日現在
[資産の部]			
流動資産		25,260	24,011
現金及び預金		2,922	2,147
受取手形及び売掛金		16,133	15,225
たな卸資産		3,935	3,821
繰延税金資産		904	847
その他		1,420	2,022
貸倒引当金		△56	△52
固定資産		29,901	32,527
有形固定資産		15,404	17,412
建物及び構築物		4,980	4,743
機械装置及び運搬具		784	915
土地		9,338	9,346
建設仮勘定		—	2,059
その他		301	347
無形固定資産		1,274	1,149
投資その他の資産		13,222	13,965
投資有価証券		6,625	8,148
長期前払費用		4,808	4,187
繰延税金資産		915	19
その他		1,033	1,747
貸倒引当金		△160	△136
資産合計		55,162	56,539

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成17年3月31日現在	平成18年3月31日現在
[負債の部]			
流動負債		22,741	19,861
支払手形及び買掛金		7,201	6,490
短期借入金		10,319	8,253
未払法人税等		807	378
賞与引当金		985	867
返品調整引当金		243	224
売上割引引当金		408	336
その他		2,775	3,310
固定負債		4,706	7,324
社債		—	1,000
長期借入金		2,827	4,588
退職給付引当金		1,593	1,478
役員退職慰労引当金		212	188
その他		72	68
負債合計		27,447	27,185
[少数株主持分]			
少数株主持分		—	—
[資本の部]			
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		5,397	5,414
利益剰余金		20,717	21,283
その他有価証券評価差額金		1,137	2,226
自己株式		△6,130	△6,164
資本合計		27,715	29,353
負債、少数株主持分及び資本合計		55,162	56,539

連結損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別 前連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	当連結会計年度 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高	56,209	55,545
売上原価	26,850	26,800
返品調整引当金戻入額	△22	△19
売上総利益	29,380	28,763
販売費及び一般管理費	26,958	26,819
営業利益	2,422	1,944
営業外収益	141	229
受取利息	2	2
受取配当金	90	108
出資運用益	—	50
その他	48	68
営業外費用	564	294
支払利息	112	130
コミットメント契約費用	129	120
出資運用損	210	—
為替差損	81	—
その他	29	43
経常利益	1,999	1,879
特別利益	595	494
固定資産売却益	2	10
貸倒引当金戻入額	13	—
退職給付信託設定益	579	483
特別損失	24	141
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	7	15
固定資産評価損	4	102
退職加算金	12	23
税金等調整前当期純利益	2,570	2,231
法人税、住民税及び事業税	1,088	778
法人税等調整額	97	204
当期純利益	1,385	1,248

連結剰余金計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別 前連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	当連結会計年度 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	5,397	5,397
資本剰余金増加高	—	17
自己株式処分差益	—	17
資本剰余金期末残高	5,397	5,414
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	20,040	20,717
利益剰余金増加高	1,385	1,248
当期純利益	1,385	1,248
利益剰余金減少高	708	682
配当金	708	682
利益剰余金期末残高	20,717	21,283

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別 前連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	当連結会計年度 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,468	1,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,109	△2,031
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,303	△4
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	△5
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	612	△775
現金及び現金同等物の期首残高	2,178	2,790
現金及び現金同等物の期末残高	2,790	2,015

財務諸表 (単体)

貸借対照表

科目	期別	前期	当期
		平成17年3月31日現在	平成18年3月31日現在
[資産の部]			
流動資産		24,335	23,322
現金及び預金		1,968	1,517
受取手形		968	994
売掛金		15,670	14,708
たな卸資産		3,893	3,785
繰延税金資産		822	790
その他		1,058	1,570
貸倒引当金		△46	△43
固定資産		28,369	31,066
有形固定資産		13,612	15,640
建物		4,128	3,931
土地		8,188	8,195
その他		1,296	3,512
無形固定資産		1,273	1,149
投資その他の資産		13,483	14,277
投資有価証券		6,370	7,987
長期前払費用		4,808	4,187
繰延税金資産		843	—
その他		1,621	2,239
貸倒引当金		△160	△136
資産合計		52,704	54,389

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	前期	当期
		平成17年3月31日現在	平成18年3月31日現在
[負債の部]			
流動負債		22,043	19,217
支払手形		3,348	2,934
買掛金		3,833	3,528
短期借入金		9,620	6,070
1年以内返済予定の長期借入金		352	1,756
未払法人税等		611	279
賞与引当金		965	849
返品調整引当金		243	224
売上割戻引当金		408	336
その他		2,660	3,239
固定負債		3,461	6,282
社債		—	1,000
長期借入金		1,664	3,577
退職給付引当金		1,593	1,469
役員退職慰労引当金		203	178
その他		0	56
負債合計		25,505	25,500
[資本の部]			
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		5,397	5,414
資本準備金		5,397	5,397
その他資本剰余金		—	17
利益剰余金		20,202	20,819
利益準備金		1,648	1,648
任意積立金		16,559	17,159
当期末処分利益		1,995	2,012
その他有価証券評価差額金		1,136	2,225
自己株式		△6,130	△6,164
資本合計		27,199	28,889
負債資本合計		52,704	54,389

損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前 期	当 期
		平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで	平成17年4月 1日から 平成18年3月31日まで
売上高		54,718	54,344
売上原価		26,551	26,450
売上総利益		28,166	27,894
販売費及び一般管理費		26,660	26,545
営業利益		1,506	1,349
営業外収益		592	616
営業外費用		536	266
経常利益		1,562	1,699
特別利益		596	494
特別損失		24	141
税引前当期純利益		2,134	2,052
法人税、住民税及び事業税		682	568
法人税等調整額		133	183
当期純利益		1,318	1,300
前期繰越利益		1,026	1,055
中間配当額		349	343
当期末処分利益		1,995	2,012

利益処分

(単位：円)

科 目	期 別	前 期	当 期
当期末処分利益の処分 当期末処分利益		1,995,326,016	2,012,565,026
これを次のとおり処分いたします。			
利益配当金		339,830,768 (1株につき8円)	339,729,240 (1株につき8円)
任意積立金 別途積立金		600,000,000	600,000,000
次期繰越利益		1,055,495,248	1,072,835,786
その他資本剰余金の処分 その他資本剰余金 自己株式処分差益		—	17,255,000
これを次のとおり処分いたします。			
その他資本剰余金次期繰越額		—	17,255,000

(注) 1.平成17年12月9日に343,074,864円(1株につき8円)の中間配当を実施いたしました。
2.利益配当金は自己株式5,824,018株を除いて計算しております。

連結財務ハイライト

項目	第48期 H14/3	第49期 H15/3	第50期 H16/3	第51期 H17/3	第52期 H18/3
売上高 (百万円)	53,837	55,055	54,375	56,209	55,545
経常利益 (百万円)	3,924	3,004	2,404	1,999	1,879
当期純利益 (百万円)	1,449	2,039	1,553	1,385	1,248
総資産 (百万円)	55,029	50,310	48,304	55,162	56,539
株主資本 (百万円)	29,730	29,708	29,330	27,715	29,353
株主資本利益率 (ROE) (%)	4.9	6.9	5.3	4.9	4.4
売上高経常利益率 (%)	7.3	5.5	4.4	3.6	3.4
売上高当期純利益率 (%)	2.7	3.7	2.9	2.5	2.2
総資本経常利益率 (%)	6.7	5.7	4.9	3.9	3.4
株主資本比率 (%)	54.0	59.1	60.7	50.2	51.9
1株当たり当期純利益 (円)	30.03 (30.03)	42.82	33.93	31.77	29.23
1株当たり株主資本 (円)	617.07 (617.07)	633.32	654.74	652.45	691.22

(注) 第49期から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。なお第48期の1株当たり当期純利益及び1株当たり株主資本について同会計基準を適用して算出した場合を()内に記載しております。

連結子会社 2社

ゼリアヘルスウェイ株式会社

売上高 73億38百万円
 資本金 85百万円(議決権比率100%)
 事業内容 健康食品の仕入・販売

株式会社ゼービス

売上高 6億18百万円
 資本金 1億80百万円(議決権比率100%)
 事業内容 保険代理業・不動産業等

会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,170名
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、 販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、 衛生雑貨、医療機器の製造、 販売及び輸出入

役員

(平成18年6月29日現在)

代表取締役社長	伊 部 幸 顕
常務取締役	猪 口 博 明
常務取締役	長 江 晴 男
常務取締役	斎 藤 武
取 締 役	大 野 晃
取 締 役	吉 島 光 之
取 締 役	花 田 雅 彦
取 締 役	熊 井 雅 一
取 締 役	菅 幹 雄
取 締 役	永 谷 康 典
取 締 役	瀬 沼 宏 章
取 締 役	森 山 茂
取 締 役	堀 博 之
取 締 役	竹 内 治 之
取 締 役	吉 村 和 彦
常勤監査役	浜 野 峻 至
常勤監査役	田 中 辰 幸
監 査 役	小笠原 日出男
監 査 役	中 由規子

事業所

●本 社	東京都中央区
●札幌支店	札幌市
●仙台支店	仙台市
●東京支店	東京都中央区
●神奈川営業所	横浜市
●埼玉営業所	さいたま市
●千葉営業所	千葉市
●北関東営業所	水戸市
●関越営業所	新潟市
●甲信営業所	松本市
●名古屋支店	名古屋市
●静岡営業所	静岡市
●大阪支店	吹田市
●大阪第二営業所	堺市
●神戸営業所	神戸市
●京都営業所	京都市
●金沢営業所	金沢市
●中四国支店	広島市
●岡山営業所	岡山市
●高松営業所	高松市
●松山営業所	松山市
●福岡支店	福岡市
●中央研究所	埼玉県大里郡
●埼玉工場	埼玉県大里郡
●筑波工場	牛久市
●東京物流センター	川口市
●札幌物流センター	札幌市
●埼玉物流センター	埼玉県大里郡
●大阪物流センター	大東市
●出張所	青森・郡山・宇都宮・富山・米子・山口・高知・徳島・大分・ 熊本・長崎・鹿児島・沖縄

株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 119,860,000株
- ②発行済株式の総数 48,290,173株
- ③株主数 3,796名

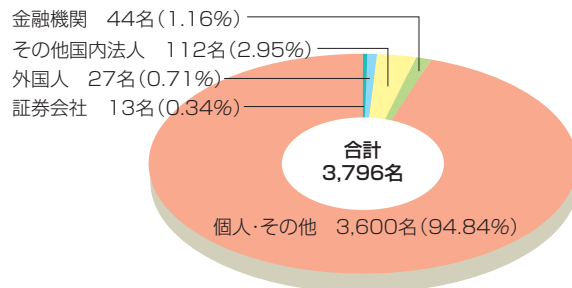
大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	5,510,770	11.4	—	—
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,970,417	4.0	—	—
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,915,500	3.9	—	—
森永乳業株式会社	1,854,741	3.8	1,596	0.0
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,672,000	3.4	—	—
伊部 幸顕	1,409,425	2.9	—	—
株式会社三井住友銀行	1,278,301	2.6	—	—
株式会社りそな銀行	1,074,896	2.2	—	—
あいおい損害保険株式会社	858,691	1.7	—	—
中央三井信託銀行株式会社	639,000	1.3	—	—

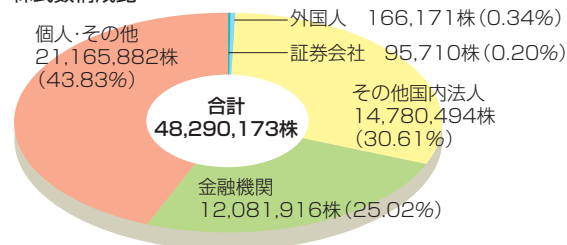
(注)上記の他に、当社が自己株式として5,824,018株所有しております。

所有者別株式分布状況

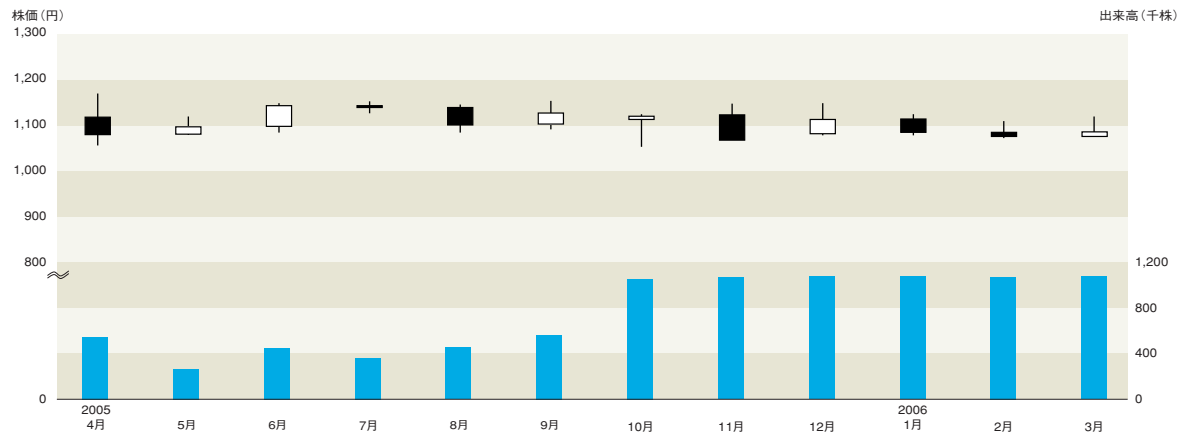
株主数構成比



株式数構成比



株価および出来高の推移




株主メモ

- 決算期 3月31日
- 定時株主総会 3月31日
権利行使株主確定日
- 期末配当金 3月31日
受領株主確定日
- 中間配当金 9月30日
受領株主確定日
- 定時株主総会 6月下旬
- 公告方法 電子公告による
<http://www.zeria.co.jp/>
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 〒105-8574
東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社証券代行部
0120-78-2031（フリーダイヤル）
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
- 証券コード 4559

（お知らせ）

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはインターネットホームページをご利用ください。

 0120-87-2031

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.htmlで24時間受付しております。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>



当社ではスピーディに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<http://www.zeria.co.jp/>